

小林奏さん（自然科学研究科・博士前期課程2年）が、2020年11月13日から15日にオンライン開催された第59回電子スピンスイエンズ学会年会において、優秀発表賞を受賞しました。

有機太陽電池は従来の無機デバイスに比べて、軽量、安価、柔軟性などの利点があり、近年注目を集めています。しかし、従来のシリコン半導体等の無機デバイスに比べて電気が流れにくいなどの問題があります。そのため、デバイス性能の向上に向けた電荷キャリア動力学の解明が期待されています。

本研究では、新潟大学において独自に開発した磁気光吸収・磁気光電流同時測定法を用いて、光キャリア輸送中の対再結合速度にとって欠陥準位が重要な役割を果たしていることを明らかにしました。

受賞者：

小林奏（新潟大学自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース修士2年）

（指導教員：生駒忠昭教授）

名称：第59回電子スピンスイエンズ学会年会 優秀発表賞

演題名：磁気光吸収・磁気光電流同時測定法による P3HT:PC<sub>61</sub>BM 薄膜におけるキャリア対ダイナミクスの観測

発表者：小林奏、三浦智明、生駒忠昭

